

平成19年度 一般会計事業報告書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

本県の畜産産出額は、農業産出額構成比の51%を占め、これに畜産物加工業等関連産業の生産額を合わせると地域経済の維持発展の主要な原動力となっている。

このことを踏まえ、本会が公益法人として畜産主産地形成の一翼を担っていくため、岩手県が定める農業農村基本計画・酪農及び肉用牛生産近代化計画・家畜及び鶏の改良増殖計画及び農協等生産者団体が進める諸対策について関係機関・団体と緊密な連携を図り、飼料価格や原油価格の高騰等厳しい畜産経営環境のもと、当協会の総力を結集して、畜産経営や飼養管理技術の指導・家畜改良及び自衛防疫等の推進を図るとともに、安全かつ良質な畜産物の生産のための検査、指導を果敢に進め、本県の畜産振興に寄与した。

重点的に推進した事項

- 1 認定農業者等主業型経営体を対象とした経営診断・経営技術指導及び最新技術情報の提供・研修会の開催。
- 2 家畜防疫等家畜衛生対策の推進。
- 3 東北ブロック生乳検査の一元化に伴う受け入れ体制の確保と検査業務の円滑な推進。
- 4 家畜自衛防疫、家畜登録（乳用牛・豚）、人工授精用凍結精液等の供給、生乳検査、肉用牛肥育経営安定対策、肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業及び地域養豚振興特別対策事業を活用しての各種情報等の効率的活用。

- 5 本県肉用牛の改良増殖及びいわて肉用牛増頭運動等生産振興に寄与。

I 独自事業

1 企画調整事業

1) 職員技術研修事業（独自－30千円）

本会職員が関係機関・団体が行う研修会等に参加し、知識・技術の向上を図った。

11月28日中央団体主催の経理講習会参加（中畜、全肉振、全衛協の共催）

2) 畜産技術指導促進事業（独自－120千円）

各種研修会や会議等への出席及び一般畜産指導を行った。

会議…5回・5人、研修会…2回・2人、指導…2回・1人

3) 北海道・東北畜産協会職員研修事業（独自－106千円）

北海道・東北ブロック畜産協会職員研修に参加し、畜産に関する各種技術の修得並びに諸情報の交換を行った。

開催場所…秋田県仙北市、開催日…10月23日(火)～24日(水)、参加者…9名

2 畜産関係団体運営基盤強化事業

1) 畜産関係団体運営基盤強化事業（独自－43,799千円）

(1) 肉用牛生産振興指導

① 肉用牛振興対策事業

ア. 肉用牛技術指導者研修会（11月29日（いい肉の日）、アピオ、200名参加）

イ. 肉用牛増頭振興地区研修会（二戸市、盛岡市、奥州市）

ウ. 生産者ネットワークの「女性の集い」開催（11月20日、盛岡市、20名）

エ. モーモーレディ認定証書交付式及び記念講演（2月22日、盛岡市、75名）

② 地域の独自増頭支援事業

ア. 増頭支援対策事業への支援

イ. 実証展示事業への支援

ウ. 収益性向上対策への支援

エ. 地域の優良事例表彰（地域表彰 4事例、個人表彰 15事例）

③ 飼養管理改善事業

ア. 飼養管理マニュアルの作成

(2) 肉用牛改良事業の推進

① 県有種雄牛のPR活動への支援

ア. 種雄牛PR資料の作成

イ. 種雄牛利用促進品の作成

② 家畜共進会開催経費への支援

(3) 公共牧場の活用推進事業

① 公共放牧地の活用推進対策への支援

(4) いわて肉用牛生産振興協議会に係る支援

Ⅱ 補助事業

1 岩手県補助事業

1) 「岩手の畜産」発行事業 (3,544千円—うち県1,137千円)

畜産に関する情報、経営管理技術、家畜衛生の情報資料を掲載した月刊誌「岩手の畜産」を毎月発行し、経営改善に資するため畜産関係指導機関・団体及び主な受診農家等に配布した。

毎月1回、1,700部発行

2) 家畜共進会開催事業 (3,799千円—うち県1,850千円)

畜産振興の基礎となる家畜の改良増殖を推進し、併せて畜産農家相互の研鑽と改良意欲の高揚を図るため、県下一円を対象とした第51回岩手県畜産共進会を開催した。

	開催日	出品頭数	開催場所
黒毛和種の部	平成19年7月27日	64頭	J A全農いわて中央家畜市場
ホルスタイン種の部	8月30日	80頭	同上
日本短角種の部	8月31日	47頭	同上
肉牛の部	10月20日	120頭	(株)岩手畜産流通センター
(馬の部は「馬インフルエンザ発生」のため中止した)			

2 地方競馬全国協会補助事業

1) 馬の改良増殖奨励事業 (地全協—40千円、預かり補助金2,020千円)

農用馬の生産及び優良種雄馬の維持活用を図るため、飼養者または管理者に対して奨励金を交付した。

(1) 優良種雄馬繁殖奨励「種付け奨励」

家畜改良増殖法に基づく種畜証明書の交付を受け、年間の種付け頭数が、純粋種にあっては1頭以上、純粋種以外にあっては概ね15頭以上の農用雌馬に種付けした種雄馬飼養管理者に対し奨励金を交付した。

種雄馬…11頭、種付け頭数…118頭、奨励金交付額…608,000円

(2) 子馬生産奨励「生産奨励」

農用馬の生産拡大を積極的に誘導して生産意欲の高揚を図るため、農用種雄馬を飼養し、子馬を生産して日本馬事協会の種馬登録規程に基づく血統登録を受けた飼養者に対して奨励金を交付した。

奨励金交付頭数…78頭、奨励金交付額…1,452,000円

2) 畜産経営技術指導等事業 (地全協—14,197千円)

岩手県における畜産経営の改善、飼養管理技術の向上、家畜改良の促進及び自衛防疫の推進を図り、安全かつ良質な畜産物の生産のための検査・指導等を行うとともに、県内の

関係機関・団体と連携し、畜産の安定的な発展に寄与した。

(1) 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化事業

- ① 畜産生産基盤育成強化
- ② 馬産農家育成
- ③ 馬産後継技術者育成
- ④ 担い手女性研修

ア. いわて肉牛モーモー女性ネット「女性の集い」

イ. いわて肉用牛増頭実践女性リーダー（モーモーレディ）認定証書交付式

(2) 地域畜産に関する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化事業

① 地域畜産理解増進

ア. 家畜共進会の開催

② 銘柄豚肉の販売促進

ア. いわて食と観光フェスタ2007

イ. 岩手純情豚銘柄確立並びに地産地消促進

③ 主要馬産地におけるイベント開催支援

ア. 東北馬力大会馬の里遠野・宮守大会支援

イ. 東北軌馬競技盛岡競馬場大会支援

ウ. 全国スポーツ流鏑馬競技遠野馬の里大会支援

④ 畜産協会のPR

ア. 協会要覧の作成

(3) 地方公共団体及び中央団体の補助・委託事業の実施体制の強化事業

① 養豚経営安定強化に関する政策並びに豚肉安定価格要請に係る畜政活動

② 北海道・東北畜産協会職員研修事業

(4) 地域団体との連携協調体制の基盤強化事業

肉用牛生産振興対策事業

3 農畜産業振興機構補助事業

1) 地域養豚振興特別対策事業（機構－13,159千円）

豚肉の品質・規格の統一化、受胎率の向上による出荷頭数の平準化及び種豚の改良や肉豚の生産振興等多様な活動を推進し、国産豚肉に対する需要の確保、国際競争力を備えた養豚生産基盤の確立を推進した。

(1) 養豚振興推進方策策定のための検討会の開催…1回

(2) 人工授精用精液の導入に対する補助…導入数 12,701ドース

(3) 優良種豚の能力・血統の証明に対する補助

能力証明…繁殖登録 40頭、産子検定証明 80頭

血統証明…種豚登録 590頭、子豚登記 2,035頭

- (4) 県内産豚肉の地場消費促進並びに産地銘柄確立販売等への支援

「いわて食と観光フェスタ2007」参加…1回

「いわちく感謝デー」参加…1回

- (5) 養豚経営研修会の開催…1回

4 中央畜産会補助事業

1) 肉用牛肥育経営安定対策事業（中畜－13,243千円）

社団法人中央畜産会の助成を受けて、肉用牛肥育経営安定基金を設け、肉用牛肥育経営の収益性が悪化した時に肥育牛補てん金を交付し、もって肉用牛肥育経営の安定を図り、肉用牛生産基盤の拡大に資した。

(1) 肉用牛肥育経営安定推進

- ① 推進会議の開催…1回
- ② 事業実施状況の調査及び指導…県内事務委託先（19ヶ所）
- ③ 業務方法書、肥育牛補てん金交付契約書及び事務委託契約書の印刷及び配布
- ④ 全国会議への出席…1回
- ⑤ システム研修会への出席…1回
- ⑥ 事務委託先の巡回指導…1回
- ⑦ 肥育牛個体登録から補てん金交付に係る事務
- ⑧ 事務委託先への個体識別技術料の交付の支払…@200×21,951頭＝4,390,200円

(2) 肉用牛肥育経営安定対策

- ① 肥育牛補てん金の交付
 - ア. 交付対象者数…247人
 - イ. 交付対象頭数…7,667頭
 - ウ. 補てん金額…172,796,000円
- ② 地域基金の積立
 - ア. 契約肥育牛頭数…21,405頭
 - イ. 生産者積立金積立額…137,757,100円
 - ウ. 補助金…413,271,300円
- ③ 契約肥育牛の登録…21,963頭

5 全国家畜畜産物衛生指導協会補助事業

1) 育成馬予防接種推進事業（全国衛指協－300千円）

馬伝染性疾患の予防接種を計画的に実施し、発生防止に努めた。

- (1) 予防接種名…日本脳炎 90頭、三種混合 98頭、インフルエンザ 88頭

- (2) 対象地域…遠野市
- (3) 対象馬…軽種馬、乗用馬、農用馬延べ 276頭
- 2) 馬飼養衛生管理特別対策事業（全国衛指協－551千円）
馬の飼養衛生に関する調査及び普及啓発事業を実施した。
 - (1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催…1回
 - (2) 馬飼養衛生管理技術講習会の開催…1回（38名）
 - ① 馬の繁殖生理と授精適期について
 - ② 最近の馬事情勢について
 - (3) 地域馬獣医療実態調査…162件
- 3) 衛指協事業強化事業（全国衛指協－149千円）
全国衛指協並びに協会独自事業として実施している各種予防接種事業を効果的に推進するため、地域自衛防疫協議会を対象に自衛防疫推進会議を開催した。
推進会議…5回
- 4) 家畜防疫互助基金造成等支援事業（全国衛指協－3,590千円）
海外悪性伝染病が発生した場合に、飼養する牛及び豚のとう汰に伴う損失を生産者等が互助補償する互助基金制度について、家畜飼養者への周知を図り、基金への加入を促進した。
 - (1) 県推進会議…1回
 - (2) 加入推進説明会…4ヶ所
 - (3) 加入戸数及び頭数…牛3,557戸・82,380頭（加入率 52%）
豚84戸・284,079頭（加入率 70%）
- 5) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（全国衛指協－2,685千円、預かり補助金31,432千円）
BSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の収集・輸送及び化成処理に要する経費に対して生産者に助成した。
死亡牛処理頭数…3,370頭、対象農家数…1,930戸、助成額…31,432,000円
- 6) 高病原性鳥インフルエンザ防疫強化緊急対策事業（全国衛指協－477千円）
高病原性鳥インフルエンザに対する生産者等の自衛防疫意識の高揚と防疫体制の強化を図るため、高病原性鳥インフルエンザ防疫対策研修会を開催した。
研修会の開催…1回、参加者数…107人
- 7) マイクロチップ生産地普及促進事業（全国衛指協－88千円）
競走馬（当歳馬）の個体識別のための競走馬用マイクロチップの埋め込み（注射）を実施した。
実施頭数…1頭

6 全国肉用牛振興基金協会補助事業

1) 肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業 (130,983千円ーうち全肉振88,894千円)

肉用牛生産基盤の安定を図るため、地域の特色ある肉用牛振興、技術指導等と併せ、真に肉用牛繁殖雌牛等の増頭に資する取り組みに対し補助した。

実施団体…41集団、6公社、15農協

(1) 肉用牛増頭強化対策事業

① 子牛の生産性向上対策事業

子牛の事故率低減対策 (衛生資材の支給及び器具器材の導入等)

実施団体…5公社、4農協、20集団

② 繁殖雌牛の導入促進事業

ア) 中核的担い手育成増頭推進

計画的に繁殖雌牛を増頭し地域の中核的担い手となる繁殖雌牛飼養者に対し、増頭実績に応じて奨励金を交付

実施団体…6農協、交付頭数…176頭

イ) 優良繁殖雌牛導入奨励

繁殖雌牛飼養頭数の維持、増頭及び新規導入のため、導入計画に基づき、農協等が雌牛を購入し、農業者に一定期間貸し付けた場合に奨励金を交付

実施団体…5農協、交付頭数…97頭

③ 酪農経営活用肉用牛増頭の推進事業

登記可能受精卵移植奨励及び和牛雌子牛の登記奨励

繁殖雌牛の増頭に資するため、登記可能受精卵を乳用種等の雌牛に移植し、妊娠した場合に奨励金を交付

実施団体…10農協、交付頭数…646頭

④ 円滑な雌牛継承の推進事業

地域型雌牛継承推進

離農及び経営規模を縮小する繁殖農家の雌牛を地域等で保留することにより、地域の繁殖雌牛の減少を抑制するため、妊娠した繁殖雌牛及び繁殖利用可能な雌牛の購入者に対し購入費の補助等

実施団体…1公社、購入補助頭数…55頭、輸送補助頭数…24頭

⑤ 増頭に資する器具器材等の整備事業

育成牛及び繁殖雌牛の増頭等のための簡易施設の整備、資材の支給器具器材、機器の導入等

実施団体…2農協、対象戸数…8戸

⑥ 遊休農地等を活用した放牧推進事業

遊休農地等を活用した放牧地の整備

遊休農地等を活用し、肉用牛の増頭及び飼料自給率の向上を図るための放牧用電

気牧柵等の整備

実施団体… 1 農協、設置箇所数…15ヶ所（6戸）

(2) 地域の特色のある肉用牛振興対策事業

① 高齢地域等実情に応じた生産活動推進事業

ア) 肉用牛ヘルパー活動の推進

肉用牛ヘルパー利用組合が、担い手の高齢化等に対応し、肉用牛生産の労働負担の軽減を図るために実施する傷病時等の肉用牛ヘルパー利用の推進等

実施団体… 3 集団

イ) 経営内一貫生産方式の導入推進

自家生産の肥育素牛を計画的に増頭し、経営内一貫生産方式の導入に取り組む繁殖雌牛飼養者に対する増頭実績に応じて奨励金を交付

実施団体… 1 農協、交付頭数…17頭

② 品種や条件不利地域の特徴的な生産・流通体系に応じた肉用牛振興事業

地方特定品種等の振興（対象；日本短角種及び日本短角種との交雑種）

生産者集団が地方特定品種の維持強化を図るために実施する繁殖基盤等の強化、放牧利用等の推進、生産出荷安定対策等

実施団体… 3 農協、32集団、保留頭数…760頭、出荷頭数…583頭

Ⅲ 受託事業

1 岩手県受託事業

1) 畜産生産基盤育成強化（県－6,231千円）

畜産経営体の生産基盤育成強化に係る経営支援指導を実施するため、以下の業務を実施した。

(1) 畜産経営体支援指導研究会

① 委員会の開催… 1 回

② 畜産経営技術指導の報告書作成

(2) 畜産経営技術の総合支援指導

① 個別支援指導の実施…199件（経営改善診断指導 31件、経営管理技術指導 54件、生産技術指導 19件、フォローアップ指導 95件）

② 地域支援指導の実施…延べ10回（地域セミナー）

(3) 畜産経営関係情報のホームページによる提供

畜産経営データベース構築による畜産関係情報の提供・更新

2) 乳用牛群検定情報分析センター機能向上事業（県－1,666千円）

乳用牛群検定普及定着化事業で得られた情報を集積及び分析し、検定組合への情報提供等指導を実施した（対象；14検定組合）

- (1) 情報データを集積及び分析し、成績書として取りまとめ
- (2) 各検定組合への巡回指導（１回）
- 3) 岩手県家畜改良事業（県－37,428千円）
全国農業協同組合連合会岩手県本部に再委託。
 - (1) 繁殖基礎雌牛及び検定用素牛の飼養管理
繁殖基礎雌牛…黒毛和種 45頭
検定用素牛頭数…黒毛和種 99頭
 - (2) 産肉能力検定牛の飼養管理
現場後代検定調査牛…黒毛和種 61頭
 - (3) 施設等の維持管理並びに環境整備、除雪作業
 - (4) 草地管理及び粗飼料生産
滝沢牧場281ha（うち採草・放牧地等262.5ha）
- 4) 家畜飼養管理等事業（県－28,357千円）
社団法人 江刺畜産公社に再委託
 - (1) いわて和牛改良増殖事業の検定等の飼養管理
直接検定牛…4～15頭、現場後代検定牛…35～78頭、肥育牛…2～10頭
 - (2) 供卵牛等の飼養管理
経産牛、未經産牛、育成子牛等…53～60頭
 - (3) 種雄牛の一部の飼養管理及び凍結精液製造補助
待機牛…14～18頭
 - (4) 施設等の維持管理並びに環境整備、除雪作業
 - (5) 草地管理
採草地…54.7ha、放牧採草兼用地…7.8ha、放牧地…49.7ha
- 5) 種山高原牧野放牧事業（種山高原牧野放牧事業運営協議会－12,166千円）
社団法人 江刺畜産公社に再委託
 - (1) 放牧牛の管理・監視
放牧頭数…227～274頭、3牧区編成（5月10日～10月31日、175日間）
 - (2) 放牧地の管理
放牧地…237.2ha（うち施肥延べ面積 230ha）
 - (3) 放牧施設の保守・管理
 - (4) 未利用草地の維持・管理
 - (5) 放牧利用者への連絡・対応
人工授精、病牛治療、入退牧の調整
 - (6) 放牧事業に係る事務処理
放牧牛台帳作成、個体識別関係処理、放牧料金計算請求

2 中央畜産会受託事業

1) 改良増殖技術実態調査事業（中畜－364千円）

県内における家畜改良増殖の実態について調査取りまとめを行った。

各畜種飼養戸数、頭羽数、家畜人工授精師数

調査市町村数…35ヶ所（県内全市町村）

取りまとめ協力…県庁畜産課、広域・地方振興局 9ヶ所

集計結果

畜種	平成19年2月1日結果		平成18年2月1日結果		前年対比
乳用種	1,526戸	53,771頭	1,675戸	54,741頭	98%
肉用雄牛		229頭		218頭	105%
肉用繁殖牛	7,898戸	44,599頭	8,302戸	43,710頭	102%
肉用肥育牛	714戸	45,625頭	699戸	42,808頭	107%
種雄豚	178戸	2,714頭	180戸	2,605頭	104%
種雌豚		38,743頭		38,893頭	100%
肉豚		214,327頭		267,515頭	80%
乗用馬	19施設	193頭	20施設	209頭	92%
肥育馬	158戸	421頭	178戸	416頭	101%
めん羊	32戸	277頭	40戸	472頭	59%
山羊	31戸	97頭	33戸	129頭	75%
孵化羽数	11ヶ所	126,297,519羽	12ヶ所	140,553,977羽	90%
種鶏羽数	38ヶ所	34,050,868羽	38ヶ所	35,816,943羽	95%

① 家畜飼養実態調査結果

	18年12月末現在	17年12月末現在	前年対比
人工授精師数	2,420人	2,414人	100%

② 人工授精師数

2) 家畜生産性向上飼養技術等普及推進事業（中畜－1,118千円）

配合飼料価格の上昇に対応して飼養管理、飼料給与等の改善、生産方式の転換等、家畜の生産性向上を図るため、生産者等を対象とした地域段階での勉強会の開催等を実施した。

勉強会の開催…6回（酪農 2回、和牛繁殖 4回）

3) 受精卵移植優良事例調査事業（中畜－488千円）

受精卵移植を利用して子牛生産を行い、所得向上や経営体質の改善を図っている酪農及び肉用牛経営の優良事例を調査し取りまとめた。

調査戸数…2戸

4) 大家畜経営改善支援資金借入者に対する指導受託事業（中畜－444千円）

畜産経営指導機関、関係金融機関、生産者団体等で構成した岩手県大家畜経営改善支援協議会を開催し、大家畜経営支援資金の適正かつ円滑な貸付のため融資機関及び借入者に対する指導を実施した。

(1) 岩手県大家畜経営改善支援協議会等の開催…3回

(2) 大家畜経営改善支援資金借入者の計画作成指導

① 中央審査委員会…1回（4件）

② 地方審査委員会…3回（14件）

(3) 大家畜経営改善支援資金借入者の計画達成指導

延べ38件（経営分析に基づく指導11戸、融資機関8機関、借入者現地指導12戸、濃密指導7戸）

(4) 借入者の経営改善の進捗状況に関する調査…2回（延べ11戸）

5) 畜産関係団体調整機能強化事業（中畜－250千円）

岩手競馬の運営を側面的に支援した。

6) 畜産経営改善技術のための支援・表彰事業（中畜－504千円）

行政機関、畜産関係団体、学識経験者等で構成した地方審査委員会を設置し、県内優良事例の選定および取りまとめを行い中央畜産会に推薦した。

また、推薦事例の活動内容・成果、更には取り組みの背景・成果を生むためのプロセス等についてホームページを活用して情報提供を実施した。

(1) 優良事例選定委員会の開催…2回

(2) 事例の取りまとめ・推薦（地域畜産振興部門）

「6山6里方式による新たな肉用牛生産の展開」

J A岩手ふるさと 門 脇 功

※ 結果、優秀賞に入賞し畜産大賞発表会の場で発表した。

(3) 普及・定着推進のための情報提供

優良事例としてホームページを活用して紹介した。

7) 畜産経営改善のための中央情報活用体制整備事業（中畜－867千円）

(1) 「シングルサインオン機能を活用した情報サービス」について、普及PR活動を実施した。

① 説明会の開催

農協酪農担当者・県関係機関・全農岩手担当者を対象に、データベースの内容を周知するべく説明会を開催した。

実施回数…1回、出席者…47名

② 巡回説明の実施

ア. 自らシングルサインオン機能の利用を考えている畜産経営者に対する巡回説明

巡回件数…6戸（酪農 5戸、肉牛 1戸）

イ. 利用希望が見込まれる者を有する支援機関に出向いてのPR・説明活動

実施機関…2ヶ所

③ PR資料の送付等

検定加入農家全戸と、地域セミナー参加の肉牛農家に大家畜データベースのPR資料と加入申し込み方法の説明資料を送付した。

配布箇所…830ヶ所（酪農 535ヶ所、肉牛 280ヶ所、支援者 15ヶ所）

(2) 利用希望者の申請書類等の取りまとめ

PR活動により明らかとなった利用希望者の申請書類を取りまとめ内容確認を行った。

申請数…175件（新規利用希望 25件、変更利用希望 150件）

8) 畜産生産基盤育成強化対策推進事業〔先進的生産経営実態調査業務〕（中畜－501千円）

先進的な低コスト生産技術、経営合理化技術等（先進技術等）を実践する畜産経営体の実態調査を行った。

酪農経営…2事例、肉用牛繁殖経営…1事例、肉用牛肥育経営…1事例、養豚一貫経営…1事例

9) 畜産特別資金借受者に対する指導受託業務（中畜－1,314千円）

畜産経営指導機関、関係金融機関、生産者団体等で構成した岩手県畜産経営改善推進協議会を開催し、策定された統一的な指導方針に基づき、関係各機関団体協調のもとに畜産特別資金借受者に対する指導を実施した。

(1) 畜産特別資金借受者の計画達成指導

延べ70件（経営分析に基づく指導 8戸、融資機関 24機関、

借受者現地指導 32戸、濃密指導 6戸）

(2) 指導資料の配付

中央畜産会発行資料の配布…2回（活性化資金借受者の概要 第10集、

畜産会経営情報 No208～No218）

(3) 岩手県畜産経営改善推進協議会の開催…3回（委員会1回、幹事・指導班員会議2回）

10) 図書支援事業（中畜－607千円）

月刊誌「畜産コンサルタント誌」及び単行本等書籍の販売を行った。

11) 肉用牛経営の規模拡大と投資状況等に関する実態調査（中畜－255千円）

肉用牛増頭に際して必要となる投資内容を分析するため、増頭に伴う経営状況の変化を把握し、農林水産省又は中央畜産会が増頭に必要な施設・機器具の導入モデル等を作成す

るための基礎データとして利用した。

肉用牛繁殖経営…6事例、肉用牛肥育経営…1事例、肉用牛一貫経営…1事例

12) 肉用牛生産効率化推進調査事業（中畜－2,672千円）

地方特定肉用牛（褐毛和種、日本短角種）による生産原価及び生産実態について調査、取りまとめを行った。

日本短角種繁殖経営…12戸、日本短角種肥育経営…3戸、褐毛和種繁殖経営…1戸）

13) 乳用種ヌレ子生産費用等調査業務（中畜－780千円）

肉用牛振興及び各種施策等の基本資料に供するための調査を行った。

(1) 調査戸数…酪農家 19戸

(2) 調査内容…経営概要、ヌレ子管理技術、ヌレ子生産費用

14) 配合飼料価格の高騰に関する経営相談事業（中畜－0千円）

配合飼料価格の上昇に対応して、家畜飼料特別支援資金等の制度資金借入れに関する助言や各種事業の紹介・助言等を行うため、経営相談の窓口を設置したが、事業の需要がなかった。

3 全国肉用牛振興基金協会受託事業

1) 肉用牛振興推進指導事業（全肉振－2,999千円）

肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業の適正、かつ、円滑な推進を図るための会議開催、連絡調整及び調査指導等を行った。

(1) 会議開催…1回

(2) 調査指導…70回（実施団体；集団、公社、農協）

4 日本養豚協会受託事業

1) 養豚基礎調査事業（日豚協－477千円）

(1) 需要に見合った肉豚生産を推進するため養豚経営者を対象に平成19年8月1日現在の飼養頭数調査を実施した。（経営動向調査）

飼養戸数…164戸、子取り用雌豚頭数…40,172頭

(2) 養豚の現状を正確に把握し、肉豚価格安定策や今後の新たな養豚対策、施策の立案等に資するため、また繁殖・肥育成績の把握、後継者問題、給与飼料及び組織等々について県内の全養豚生産者を対象に調査を実施した。（養豚基礎調査）

調査農家戸数…172戸、回収戸数…110戸

5 畜産近代化リース協会受託事業

1) 畜産近代化リース協会貸付事業等指導事業（畜近リース協会－988千円）

畜産近代化リース協会が貸し付けした施設・機械の物件確認及び管理状況の調査と、適

正な利用方法について技術指導を行った。

- (1) 対象物件確認基数…77基
- (2) 対象農家数…76戸
- (3) 調査項目
 - ① 貸付契約書の保管状況
 - ② 対象機械の機種・製造番号等の確認
 - ③ 物件の契約状況
 - ④ 施設の保守管理状況
 - ⑤ 物件の稼働状況

Ⅳ 負担金事業

1 ミルクシステム診断指導事業（独自－2,783千円）

乳房炎の発生予防並びに乳質の向上のため、県内酪農家の搾乳機械の作動状況・保守点検・搾乳方法について診断指導を実施した。

- 1) 対象農協数…6農協
- 2) 診断戸数…ミルクシステム診断 225戸、バルククーラー点検 97戸
- 3) 診断基数…ミルクシステム診断 226基、バルククーラー点検 97基

2 肉用牛肥育経営安定対策事業負担金〔生産者手数料〕（独自－12,933千円）

肉用牛肥育経営安定対策事業を遂行するために必要な経費の一部について、受益者である契約生産者から事務費負担金（実費相当額を限度として）として生産者手数料を徴収し、事業を安定的に実施するための経費に充てた。

- 1) 協会の推進事務費
- 2) 事務委託先の推進事務費
- 3) 次年度以降の推進事務費の積み立て

Ⅴ 運営基盤強化基金返還事業（中畜－790,000千円）

社団法人岩手県肉牛生産公社の解散に伴い、公社事業の継承とともに運営基盤強化基金も全額移管し10年長期国債を購入していたが、畜産関係団体運営基盤強化事業が平成19年度をもって終了することから長期国債を解約し返還した。

Ⅵ 肉用牛肥育経営安定対策事業差額補てん事業（独自－8,057千円）

平成18年度肉用牛肥育経営安定対策事業の日本短角種第3四半期補てん金交付で誤算定の額を交付したことから、補てん金額を修正して再交付を行った。

平成19年度 家畜人工授精用精液流通調整事業 事業報告書

県内の畜産農家等家畜飼養者に対し、本会と契約するサブセンターを通じて家畜人工授精用精液等を公正に供給し、もって本県の家畜改良増殖の推進に寄与した。

事業内容

- 1 凍結精液分譲本数…121,647本
乳用牛…45,977本（37.8%）、肉用牛…75,670本（62.2%）
- 2 受精卵分譲本数…891本
乳用牛…26本、肉用牛…865本
- 3 液体窒素供給量…55,515kg
- 4 受胎調査報告等会議の開催…1回
 - 1) 出席者…17名（受胎調査員 10名他）
 - 2) 受胎率（平成18年授精分）…乳用牛 51.1%、肉用牛 65.4%
- 5 サブセンター家畜人工授精担当者県外研修
 - 1) 参加者…11名（人工授精担当者 9名他）
 - 2) 研修先…鳥取県米子市「第9回全国和牛能力共進会」
- 6 サブセンター家畜人工授精担当者会議の開催…1回
参加者…37名（人工授精担当者 23名、関係機関・団体等 14名）
- 7 家畜改良に関する情報の提供…86回
凍結精液等の供給業務において情報誌の配布や情報交換等

平成19年度 肉用牛肥育経営安定対策事業 事業報告書

肉用牛肥育経営においては、素牛の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費用に占める素畜費の割合が大きいことから、素畜価格と枝肉価格の水準によっては経営収支の悪化が懸念される。このため、社団法人中央畜産会の補助を受けて、肉用牛肥育経営安定基金を設け、肉用牛肥育経営の収益性が悪化した際に肥育牛補てん金を交付し、もって肉用牛肥育経営の安定を図り、肉用牛生産基盤の拡大に資するため事業を実施した。

1 契約生産者数 447戸

2 事務委託先数 19ヵ所

[事務委託先詳細：順不同]

全国農業協同組合連合会岩手県本部	いわい東農業協同組合
(社)岩手県配合飼料価格安定基金協会	陸前高田市農業協同組合
新岩手農業協同組合	遠野地方農業協同組合
岩手中央農業協同組合	岩手宮古農業協同組合
花巻農業協同組合	いわてくじ農業協同組合
北上市農業協同組合	北いわて農業協同組合
西和賀農業協同組合	いわて奥中山農業協同組合
岩手ふるさと農業協同組合	岩手中央酪農業協同組合
岩手江刺農業協同組合	岩手県畜産農業協同組合
岩手南農業協同組合	

3 基金の造成及び補てん金交付実績

(1) 地域基金造成実績（平成19年1月～平成19年12月）

生産者積立金の納入及び中央畜産会からの補助金を受けて、品種毎に地域基金として造成した実績は以下のとおり。

品種区分	頭数（頭）	単価（円）	地域基金造成負担区分		合計（円）
			地元負担（円）	補助金（円）	
黒毛和種等	12,000	7,200	86,400,000	259,200,000	345,600,000
交雑種	4,984	4,500	22,428,000	67,284,000	89,712,000
乳用種	3,588	5,300	19,016,400	57,049,200	76,065,600
日本短角種	833	11,900	9,912,700	29,738,100	39,650,800
合 計	21,405	—	137,757,100	413,271,300	551,028,400

(2) 補てん金交付実績（平成19年1月～平成19年12月販売分）

品種毎の地域基金から四半期毎に補てん金を交付した実績は以下のとおり。

区 分	品種区分	交 付 対象者数 (人)	交付対象頭数 ① (頭)	補てん金額	
				補てん金単価 ② (円/頭)	補てん金交付額 ①×② (円)
平成18年度 第4四半期 H19年 1月～3月	黒毛和種等	0	0	0	0
	交雑種	0	0	0	0
	乳用種	28	849	6,200	5,263,800
	日本短角種	25	189	47,600	8,996,400
	合 計	53	1,038	—	14,260,200
平成19年度 第1四半期 H19年 4月～6月	黒毛和種等	0	0	0	0
	交雑種	14	924	5,800	5,359,200
	乳用種	28	1,013	22,700	22,995,100
	日本短角種	24	194	47,600	9,234,400
	合 計	66	2,131	—	37,588,700
平成19年度 第2四半期 H19年 7月～9月	黒毛和種等	0	0	0	0
	交雑種	13	980	28,500	27,930,000
	乳用種	29	921	22,700	20,906,700
	日本短角種	25	187	47,600	8,901,200
	合 計	67	2,088	—	57,737,900
平成19年度 第3四半期 H19年 10月～12月	黒毛和種等	0	0	0	0
	交雑種	13	1,383	26,100	36,096,300
	乳用種	26	827	22,700	18,772,900
	日本短角種	22	200	41,700	8,340,000
	合 計	61	2,410	—	63,209,200
合 計	黒毛和種等	0	0	—	0
	交雑種	40	3,287	—	69,385,500
	乳用種	111	3,610	—	67,938,500
	日本短角種	96	770	—	35,472,000
	合 計	247	7,667	—	172,796,000

平成19年度 家畜登録事業 事業報告書

家畜改良による能力向上を図り生産基盤確保と所得向上のため関係機関・団体と協力のもと、乳用牛並びに豚の血統登録・登記等家畜登録事業を実施した。

1 家畜登録取扱件数

1) 乳用牛…7,014件（前年対比 80.7%）

<明細>

- (1) 血統登録…5,030件（前年対比 91.4%）
- (2) 牛群審査… 750件（ 〃 70.8%）
- (3) 検定成績… 313件（ 〃 31.2%）
- (4) 移動他… 921件（ 〃 82.2%）

2) 豚…5,571件（前年対比 88.4%）

<明細>

- (1) 子豚登記…2,679件（前年対比 97.3%）
- (2) 移動他…1,868件（ 〃 108.9%）
- (3) 種豚登録… 701件（ 〃 85.2%）
- (4) 能力証明… 125件（ 〃 44.3%）
- (5) 指定証明… 198件（ 〃 27.2%）

【指定種豚場 6農場】

【衛生管理優秀養豚場 4農場】

【黒豚生産農場 5農場】

【海外合成豚原々種豚場 3農場】

2 東北地区ホルスタイン登録委員研修会及び夏季登録事務担当者会議

- 1) 開催場所…盛岡市、雫石町
- 2) 開催日…8月2日(木)～3日(金)
- 3) 出席者…75名

平成19年度 家畜自衛防疫事業 事業報告書

家畜の損耗を防止し、健康な家畜による畜産物の生産並びに家畜伝染病の発生予防及びまん延防止を図るため、次の事業を実施した。

なお、家畜伝染性疾病や伝染性疾病を疑う疾病の発生経営体に対し、防疫活動に要する経費を助成した。

1 ヨーネ病防疫推進事業（助成239千円）

ヨーネ病のまん延防止、早期清浄化を促進するために家畜飼養者が自主的に行う同居牛等のとう汰に要する経費の一部を助成した。

2戸、4頭

2 オーエスキー病清浄化推進総合対策事業（助成5,835千円）

ワクチン接種…3戸、15,133頭

抗体検査…6戸、6,042頭

3 予防注射実施成績

- 1) 牛五種混合（生）予防接種…31,050頭
- 2) 牛五種混合（不活性）予防接種…2,729頭
- 3) アカバネ病予防接種…40,408頭
- 4) TGE・PED混合予防接種…10,000頭
- 5) 牛ヘモフィルス予防接種…27,103頭
- 6) 豚丹毒（生）予防接種…278,672頭
- 7) 豚丹毒（不活性）予防接種…16,320頭

4 家畜伝染性疾病緊急防疫対策事業

牛サルモネラ症の発生農場における清浄化対策に要する経費の一部を助成した。

- 1) 発生戸数…3戸
- 2) 発生頭数…10頭

平成19年度 生乳検査事業 事業報告書

東北生乳販売農業協同組合連合会及び東北地域の農業協同組合、牛群検定組合等から委託又は依頼された生乳について検査を実施した。

1	取引試料乳検査	(検査対象乳量683,133,755kg)
1)	配分試料乳検査(成分検査)	109,553件
	配分試料乳検査(細菌数検査)	93,320件
2)	集乳及び配送試料乳検査	72,446件
2	牛群検定乳成分分析検査	414,154件
3	依頼試料乳検査	11,640件

※ 検査項目

- ・脂肪率、蛋白質率、乳糖率、無脂乳固形分率、全固形分率、体細胞数、乳中尿素態窒素。
- ・集乳及び配送試料乳検査は、脂肪率並びに無脂乳固形分率の2項目。